



# ALSO プロバイダーコース

～台東区立台東病院～

(一部 オンラインのハイブリット開催)

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。

1991年に ACLS と ATLS に基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人が ALSO を考案した。1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられている。また ALSO コースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、60カ国、16万人以上が ALSO コースを完了した。

プロバイダーコースは 1 日半で行われ、分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。必須学習内容のマタニティケアにおける安全性、難産、妊娠初期の合併症、妊娠の内科的合併症、早産と前期破水、妊娠後期の性器出血等は事前の e-learning で行い、現地では症例検討を含む分娩中の胎児監視、妊娠の内科的合併症、そして（以下少数人数グループによる実技トレーニングを含む）肩甲難産、補助経膈分娩、骨盤位分娩、分娩後大出血、妊婦の心肺停止のシミュレーションを行う。また筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）がコースに含まれている。**プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合、受講者は**

**AAFP の認定する 3 年間有効の認証を受けることができる。** 日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国 40 の都道府県でコースが開催され、コース修了者は 11,000 名を超えた（2022 年 3 月 31 日現在）。参加者は**産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリ・ケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生**などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科医療のみならずウィメンズヘルスケアを含めた女性診療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい。日本全国のすべての地域で産科医療のみならずウィメンズヘルスケアを含めた女性診療を維持するには、**女性診療に関わりたいという志を持った人たち**が教育を受けられる場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO である。日本プライマリ・ケア連合学会ではセクシュアルヘルス委員会（PCOG:Primary Care OB-GYN）では、かつてプライマリ・ケア医の産婦人科研修のニーズと産婦人科施設におけるプライマリ・ケア医の研修の受け入れに関する調査を行い、PCOG フォーラムにおいてワークショップを開催した（[http://www.primary-care.or.jp/seminar\\_p/pdf/20160211\\_info02.pdf](http://www.primary-care.or.jp/seminar_p/pdf/20160211_info02.pdf)）その結果からはプライマリ・ケア医の産婦人科ブロック研修受け入れ可能な施設が少なからず存在し、また研修前あるいは研修中に ALSO、B (Basic) LSO といったシミュレーションコース受講を必須あるいは推奨としている施設が多いことが明らかとなった。また本コースは新家庭医療専攻医の Off the job training の単位取得が可能であることから、今回委員会（PCOG）主催による ALSO プロバイダーコースを開催する。

## ALSO プロバイダーコース in 台東区立台東病院（一部 オンラインのハイブリッド開催）

主催：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

場所：台東区立台東病院（東京都台東区）

※一部オンライン（ZOOM）のハイブリッド開催（下記2会場とオンラインで同時開催）

・国立病院機構長崎医療センター（長崎県大村市）、

・沖縄県立中部病院（沖縄県うるま市）

日時：2023年2月25日（土）13：00～17：30（12：30 集合 12：15～12：30 受付）

2023年2月26日（日）8：45～16：00（8：30～8：45 受付）

※コース終了時間はいずれも多少前後する可能性があります。

定員：4名 参加資格：日本プライマリ・ケア連合学会 学会員であること

※応募者多数の場合は関東周辺からの受講生を優先する場合がございます。

※当学会サイトでの公募開始と同時に周生期医療支援機構でも公募を実施いたします。

**【追加】 応募者多数の場合は期日前に募集を締め切ることもございます。**

参加費：40,000円

・プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合、受講者はAAFPの認定する5年間有効の認証を受けることができる。

・日本プライマリ・ケア連合学会 医師（更新）のための単位：5単位（2日間参加で）

・日本プライマリ・ケア連合学会 OFF-JT 単位（臨床/ウィメンズヘルス）：5単位（2日間参加で）

受付期間：2022年12月15日（木）～ 2022年12月25日（日）

**ご参加にあたり、参加費のお振込みと同意書のご提出を1月9日（月）までに完了いただけることが条件となります。**

申込方法：件名に「ALSO 受講」と記載し、必要事項を記入して [j pca@a-youme.jp](mailto:j pca@a-youme.jp) までメールでお申し込みください。なお、記入事項不備の場合は申込を受理できません。

### 【参加申込み必要事項】

- ① 会員番号
- ② 名前
- ③ ふりがな
- ④ 名前ローマ字表記（例：山田 太郎 Taro Yamada）
- ⑤ 所属病院
- ⑥ 診療科
- ⑦ 役職（下記から選択して下さい。該当役職がない場合は無回答で結構です。）
  - 1.院長、2.部長、3.医長、4.看護師長、5.教授、6.教員
- ⑧ 職業（下記から選択して下さい。必ずいずれかを選択して下さい。）
  - 1.産婦人科医、2.プライマリ・ケア医、3.救急医、4.小児科、5.内科、6.外科、7.麻酔科、8.整形外科、9.感染症科、10.美容外科皮膚科、11.後期研修医、12.初期研修医、13.医学生、14.助産師、15.看護師、16.看護学生、17.救急救命士、18.その他（ ）
- ⑨ 卒業年度（西暦）
- ⑩ 住所（郵便番号も記入ください）
- ⑪ 電話番号（携帯電話：当日連絡がつくもの）

⑫ E-mail アドレス（携帯電話メールアドレスは不可）

■ 申込を頂いた後 2 営業日以内に受領メールをお送りいたしますが、到着しない場合はお手数ですが、下記連絡先までお問合せ下さい。

連絡先：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会担当係 E-mail : jpca@a-youme.jp

交通アクセス <https://taito.jadecom.or.jp/access/>



### ●電車でお越しの場合

東京メトロ日比谷線「入谷駅」・「三ノ輪駅」下車 徒歩 10 分

### ●台東区循環バスめぐりんでお越しの場合

台東区循環バス【北めぐりん】をご利用ください。北めぐりんの「台東病院」で下車してください。

※台東区循環バス「めぐりん」は、台東区内を循環するバスで、「北めぐりん」「南めぐりん」「東西めぐりん」の 3 系統が走り、各路線 15 分おきに運行しております。

### ●都営バスでお越しの場合

都営バス

「竜泉」「千束」下車徒歩約 5 分

路線：都 08 日暮里駅前～錦糸町駅前

：草 63 池袋駅東口～浅草寿町

：草 43 足立区役所～浅草雷門

「浅草五丁目」下車徒歩 8 分

路線：上 46 南千住駅東口～上野松坂屋前